

「技術士による夏休み科学実験教室」で授業を行いました！

公益社団法人日本技術士会近畿本部 科学技術支援委員会

本年度も、大阪府高石市公民館様主催での夏休み理科実験教室で、実験授業1コマを当会が担当させていただきました。今年度は「タワシムシを作ろう」、というテーマで行っております。

1. 開催日 2015年8月9日(日)13:00～15:00
2. 主催 高石市公民館
3. 当日実験担当講師(敬称略) 桶屋
4. 参加者 25人
5. 概略内容

・講師が振動モーターの歴史や、どのようなところに使われているか、などの簡単な解説を行った。



- ・振動モーターを亀の子タワシに輪ゴムで取り付け、参加者各自で、しっぽなどの飾りつけを行い、タワシムシを作った。
- ・振動モーターの振動で、タワシムシがその「毛並」に応じた運動を行う様子を観察し、毛並を整えることでまっすぐ走るように各自調整した。
- ・「土俵」を用意し、タワシムシ同士で相撲をとった。毛並が整った、突進力のあるタワシムシ、毛並が乱れており、不規則な動きで相手を「いなす」タワシムシなどいろいろな動きをするタワシムシ同士の対戦で盛り上がった。

6. 実施状況報告

今年度で3回目の開催となりました。今年度も、実験材料の準備の都合上、定員25人とさせていただきましたが、主催者側のご尽力により、早い段階で定員に達した、とのことでした。改めて主催いただきました高石市公民館様には感謝申し上げます。

さて、今年度は、実際に手を動かしてもらう時間を多くとり、その中で、参加者のみなさんが、どうやったらタワシムシをまっすぐ動かせるのだろう、など自分で工夫しながら作業を進めてもらう、という点に重点を置いた内容となりました。講師が主役とならず、参加者が主役となる、良い実験教室になったのではないかと考えております。

7. 会員の皆様へのお願い

2016年度も科学技術支援委員会では各地での理科実験教室等に積極的に関わっていく予定です。講師をしてみたい、という方はぜひ、科学技術支援委員会までお知らせください。

<http://www.ipej-knk.jp/iinkai.html> 近畿本部科学技術支援委員会 HP まで